



和



第19号 (平成21年 新春号)

編集：大阪市立総合医療センター 広報委員会
(〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22)
<http://www.city.osaka.jp/kenkoufukushi/ocgh/>

新春号

目次

《新年のごあいさつ》	1
「DPC包括支払い制度」ってな～に……?	2
《シリーズ ③》地域がん診療連携拠点病院の役割	3
《連載コラム》当センターの一品 お正月らしく《小鯛姿焼》	4
《診療科紹介》整形外科	5
「健康フェスタ2008」の風景	6
《縁の下のコ・メディカルの紹介》薬剤部だより	7
外来診療日程表 (平成21年1月)	8
がん相談窓口のご案内	10
患者さんへのお願い	11



3H
の理念

Heart For Public Service 広く市民に信頼され、国際都市大阪にふさわしい公的病院をめざします。
Humane 人間味あふれる暖かな医療を実践する病院をめざします。
High-Technology 高度な先端技術を備え、地域に貢献する病院をめざします。

《新年のごあいさつ》

あけましておめでとうございます

大阪市立総合医療センターは平成5年12月の開院から15年がたちました。本年も職員一同、市民の皆さんが安心して受診できる信頼度の高い医療を提供できますよう、さらに努力してまいります。

当センターでは、より医療の充実と総合医療センターのいいところを活かせるように一昨年の「小児医療センター」につづき「消化器センター」や「呼吸器センター」、「周産期センター」を設置しました。

「消化器センター」では新たに標榜しました肝臓内科及び肝（胆・膵）臓外科と従来からの上部・下部消化管疾患を担当します消化器内科や消化器外科で構成されます。内科系診療科と外科系診療科が密接に連携し、各診療科が得意とする様々な分野からアプローチを行い、診断から治療、術後まで一貫した患者ケアを実施していきます。

「周産期センター」では周産期である出産の前後の時期であり、具体的には母子に異常が生じやすい妊娠後期（妊娠22週以降）から新生児早期（生後7日未満）までの期間をさしますが、その対応のためには産科と新生児科の両方の医師の協力が必要になる時期でもあります。

そのため周産期センターでは母体、胎児、新生児に対する総合的、一貫的な診療を実施し、母子双方の健康の保持に万全を期していきます。

また、「医療安全管理部」は平成19年4月施行の医療法改正により医療安全のための措置の義務化にともない設置し、医療安全管理対策の企画立案などとともに医療安全体制の確保及び医療事故発生時の対応を行います。

例年、患者の皆様からのご意見やご指摘の多い、診察や会計などの待ち時間の短縮を図る努力についてもいろいろな検討や実践を重ね、幾分緩和された点もあったと思われませんが、まだまだ満足していただけるまでには至っておりません。今後さらに改善する努力を続けてまいります。



岸 廣成 病院長



「DPC包括支払い制度」ってな〜に……?

DPCとは

DPCは、『Diagnosis（診断）Procedure（一連、手順）Combination（組み合わせ）』の略です。まとめますと診断に基づいて、傷病名、年齢、意識障害レベル、手術・処置の有無、副傷病の有無など一連の治療行為を組み合わせたものです。

この内容に応じて分類された「診療群分類」に基づき、入院費を計算する新しい入院医療費の計算方法を「診断群分類による包括支払い制度」と言い、一般的に「DPC」と呼ばれています。

従来入院医療費の計算方法では、投薬・注射・検査などの診療ごとに医療費を合計計算する「出来高方式」でしたが、DPCでは、厚生労働省が定めた病名ごとの1日当たりの定額医療費を基本として入院費を計算する「包括方式」（定額支払い方式）です。内訳は1日当たりの包括診療費の部分に、投薬や注射・血液や画像検査・入院料等が含まれます。そこに手術・麻酔・リハビリ・指導料等の従来方式の出来高診療費部分を組み合わせて計算されます。

DPCが導入されたその訳は

日本では、医療技術の進歩と高齢化により医療費が増加し続けています。また、入院される地域や病院の規模・環境の違いにより、全く同じ症状の患者さんでも病院によって医療費や入院日数などに差が生じています。

このような問題を解決するために、DPC制度は平成15年4月から大学病院などの82病院を対象としてスタートしました。平成20年度には約700病院に拡大しており、来年度以降も拡大することが予想されています。

また、医療分野には診療行為を評価する共通のモノサシがありませんでしたが、DPCを利用することによって、自分が必要とする医療内容がどこの病院で行われているか、どれくらいの件数の手術を実施しているかなど詳細な比較をすることができます。

厚生労働省のホームページで平成19年7月から12月分のDPCデータを提供している病院の医療内容が集計され、公開されています。

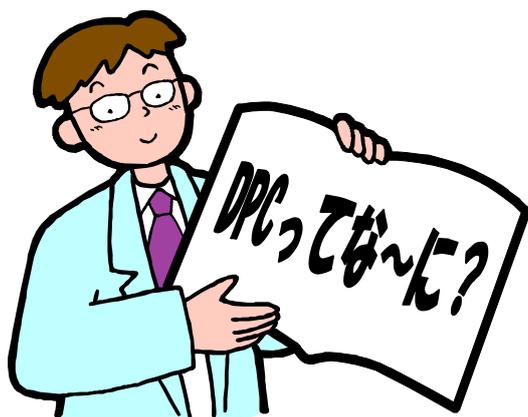
ホームページのアドレス

<http://www-bm.mhlw.go.jp/shingi/2008/05/s0509-3.html>

大阪市立総合医療センターでも平成19年度よりDPC準備病院としてデータ提供しており、当センターのデータを参照することや他の病院と比較することもできます。

なお、DPCが導入されても、入院患者さんへ提供する医療内容が大きく変化することはありません。

これからも当センターは常に質の高い、安全な医療を提供してまいります。



《シリーズ③》地域がん診療連携拠点病院の役割

がん治療専門医の育成

地域がん診療拠点病院の役割という内容で前号と前々号にコラムを掲載していただきましたが、シリーズとして連載することになりましたのでお付き合いをお願いいたします。

平成 18 年 4 月の「がん対策基本法」により、我が国のがん医療は大きな変革期を迎えています。いくつかの問題点をピックアップしてがん医療の変革について考えてみたいと思います。

戦国最強軍団を率いた武田信玄は「人は城、人は石垣、人は堀。情けは味方、仇は敵なり」を領国支配の規範としていたようです。

最新鋭の医療機器を整備していてもがん治療のシステムは有効に機能しません。チーム医療といわれる医療者の情け（優しさ）がなくてはなりません。では、その人であり、チーム医療の要であるがん治療専門医を育てるシステムはどうなっているのでしょうか。

まずはがん治療専門医とはどのような医師を指しているのか。抗がん剤治療を専門とする腫瘍内科医と放射線治療を専門とする放射線腫瘍医について考えてみましょう。

医師になるためには大学医学部を卒業し、医師国家試験に合格しなければなりません。さらに 2 年間の基礎研修期間が必修となり、医学の基礎と臨床全般を学びます。ここまでは全ての医師が大学や研修病院によって多少の個性の違いはあるにせよ、基本的には同じ内容の教育を受けることとなります。2 年間の基礎研修を終了するといよいよ専門医を目指しての研修や研究が始まります。どの専門医を目指すかは全く個人の自由であり、激務であり、訴訟のリスクが高い小児科や産科は、志望者が少なく大きな問題になっています。

我が国には腫瘍内科医や放射線腫瘍医は充足しているのでしょうか。都会の病院ではまだしも地方ともなればとてもその数は足りません。がん医療の均てん化、地方格差の是正が叫ばれているのは専門医不足が原因です。

日本の大学医学部はそもそも臨床腫瘍学や放射線腫瘍学を専門的に教育する講座が非常に少なかったことが大きな原因です。米国では臨床腫瘍学が内科学の重要な位置を占めていますが、我が国においては内科学の教科書には極わずかな紙面が割かれているといった状況でした。

2006 年には全国 42 の国立大学医学部の中で授業科目に臨床腫瘍学があるのは 8 校のみ、臨床腫瘍学講座は 9 つしかありませんでした。放射線腫瘍学に関してはさらに危機的な状況で、全国 80 の医科系大学中、52 大学（64%）には放射線腫瘍学の教授は存在しませんでした。

医師教育の最初の段階で臨床腫瘍学や放射線腫瘍学の存在を見ることも感じることもなかったのですからこれらを専門とする医師が少ないのも当然でしょう。しかし、昨今の社会状況により腫瘍学の講座も確実に増加、大学病院にも腫瘍センターが次々に作られています。また、文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン」が始まり、日本の大学からがん専門医とその教育スタッフの輩出にむけて動き始めています。

学会を中心にしたグローバルスタンダードな教育が行われています。

NPO 法人日本臨床腫瘍学会は米国や欧州の腫瘍学会と同じ教育プログラムを用いて教育セミナーや教科書の作成、専門学会誌や学会総会における相互批判を活発に行うことで専門医を育成しています。

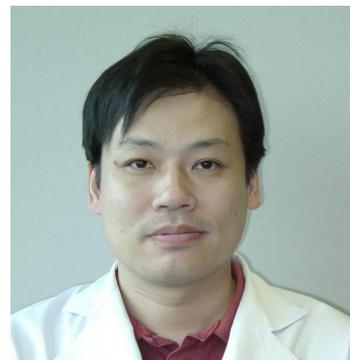
日本臨床腫瘍学会は2005年より『がん薬物療法専門医』として3年間に205名の専門医を認定しています。がん薬物療法に関する知識が一定水準以上であり、標準的治療が正しく実施できること、その副作用にも適正に対処でき、新たな治療法を創生するための臨床試験が実施できることが求められます。

さらに緩和医療ができること、がん治療に関するセカンドオピニオンができることも必須です。臨床腫瘍科には3名の『がん薬物療法専門医』が在籍し、日々のがん診療にあたっています。

大阪市立総合医療センターは臨床腫瘍センターにおいて、がん診療連携拠点病院の役割としての放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成に重点を置いています。文部科学省の推進する「がんプロフェッショナル養成プラン」では近畿大学、大阪市立大学および神戸大学と連携し、臨床研修病院としての役割を果たしています。

当院での指導体制としては3名のがん薬物療法専門医、3名の放射線腫瘍専門医および血液学会指導等によって構成しています。

私も含め古いカリキュラムでの教育を受けた現在のスタッフと違いグローバルスタンダードの臨床腫瘍学のカリキュラムで教育を受ける未来の専門医は我が国のがん医療を大きく変革してくれることと確信しています。少しずつでもがん専門医が増え続け、「人は城、人は石垣、人は堀」となり、我が国のがん医療が確固たるものに成長することを期待します。



大阪市立総合医療センター
臨床腫瘍センター長・臨床腫瘍科部長

たけだ こうじ
武田 晃司

《連載コラム》 今回の当センターの一品はお正月らしく 《小鯛姿焼》



材料（4人分）	
小鯛	4尾(280g可食部)
塩	4g
サラダ油	8g
1人分の成分	
エネルギー	94kcal
たんぱく質	13.0g
塩分	1.1g

作り方

- ① 小鯛に塩をふり、ヒレ等、焦げやすい場所は、アルミホイルで包むか化粧塩をするときれいです。
- ② グリル皿に油を敷き、①をならべ、オーブンで焼きます。
- ③ 器に盛り付けます。

当センターでの料理変換例

- 《エネルギー制限食》 変更なし又は焼き魚（塩分制限）に変更
- 《たんぱく質制限食》 焼き魚（塩分制限）に変更及び使用量の変更
- 《脂質制限食》 変更なし又は煮魚に変更
- 《易消化食》 変更なし又は煮魚に変更

《診療科紹介》

整形外科

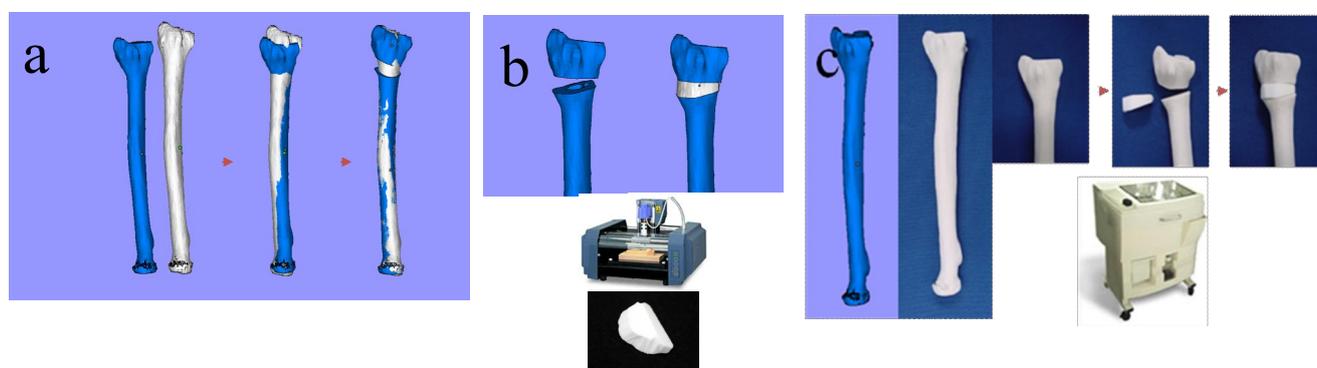
近年医療の専門化が進んでいますが、整形外科も例外ではありません。

当センターではより専門性の高い良質な医療を提供すべく、小児整形外科を含め、脊椎外科、関節外科、上肢の外科、骨軟部腫瘍外科の各分野の専門医が診療に携わっており、紹介患者を中心に、地域の医療機関との連携を密に保ちながら、専門的医療の充実を目指しています。

内視鏡手術や顕微鏡手術、ナビゲーション手術、コンピュータ支援手術などの高度で先進的な医療にも積極的に取り組んでいます。

コンピュータ支援手術の概要（写真参照）は以下のように行います。

- a：三次元CT画像を用いた手術のシミュレーション。変形した骨と正常の骨を重ね合わせて仮想手術を行います。
- b：仮想手術で生じた骨欠損部を補填する人工骨を術前に作成します。
- c：実物大の模型を作成して手術のリハーサルを行います。



それでは各専門分野の取り組みについてご説明します。

1. 脊椎外科（担当：小西、松村、加藤、前野）

最近10年間で2000件以上の脊椎手術を実施し、昨年度実績においても年間約250件の脊椎手術（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症など）を行っています。

当院脊椎外科グループでは、これまでに実施した脊椎手術の長期成績に基づいて手術計画を立て、手術用顕微鏡を駆使した低侵襲脊椎手術や内視鏡手術など可能な限り低侵襲な方法での手術を選択しています。低侵襲脊椎手術では治療困難な疾患に対しては、脊椎インストゥルメンテーションを使用した、脊柱再建手術も行っています。

2. 関節外科（担当：坂和、山崎）

変形性股関節症や変形性膝関節症、大腿骨頭壊死症、関節リウマチ患者などに対して、人工股関節置換術、人工膝関節置換術を積極的に適応しています。また、手術時の皮膚切開を極力少なくする低侵襲手術や、正確な人工関節設置のためのナビゲーション手術にも取り組んでいます。

3. 上肢の外科（担当：香月、細見）

上肢、特に手・手関節・肘関節の外傷や疾患だけでなく、手足の先天異常など幅広い分野の治療を行っています。また、手関節鏡視下手術や肘関節鏡視下手術といった低侵襲手術や、マイクロサージャリー（顕微鏡手術）の技術を応用した四肢再建手術にも取り組んでいます。



リウマチ患者に対する
新しい人工指関節

この他、実物大臓器立体モデルを用いた手術計画や術前三次元切削加工した人工骨を用いた三次元矯正骨切り術といったコンピュータ支援手術など、より高度で専門性の高い治療に取り組むとともに、大阪市立大学で開発した関節リウマチ患者に対する新しい人工指関節や橈骨遠位端骨折に対する新しい内固定材料の臨床応用も行っていきます。

4. 骨軟部腫瘍外科（担当：青野）

原発性の悪性骨・軟部腫瘍を早期に発見し、全身化学療法、手術療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療による疾患の根治を目指しています。

診断に関しては、病理部の協力により、適当な症例を選択して、侵襲性のより少ない針生検による診断を行っています。

また、骨・軟部腫瘍の中でも特に治療に難渋する脊椎・脊髄腫瘍（転移性脊椎腫瘍も含む）の治療やラジオ波焼灼法などの特殊な治療をにも積極的に取り組んでいます。

5. 小児整形外科、こどもの整形外科（担当：北野、中川）

小児医療センターに属する小児整形外科はこどもの整形外科に関する疾患（先天性股関節脱臼、内反足、ペルテス病、大腿骨頭すべり症、下肢変形・脚長不等）のほとんどに対応しています。近年小児科医が不足しているように、小児整形外科医も不足しています。当センターは数少ない小児整形外科の専門的な治療を受けることができる施設といえます。



整形外科 部長

かつき けんいち
香月 憲一

健康フェスタ2008が開催されました



パネル展示とパンフレットコーナー（左の写真）とパネルディスカッション風景（右の写真）、当センター医師他の職員と患者さんの立場から「NPO法人 エスピーロー理事長 安道 照子氏を迎えて

《縁の下のコ・メディカルの紹介

薬剤部だより

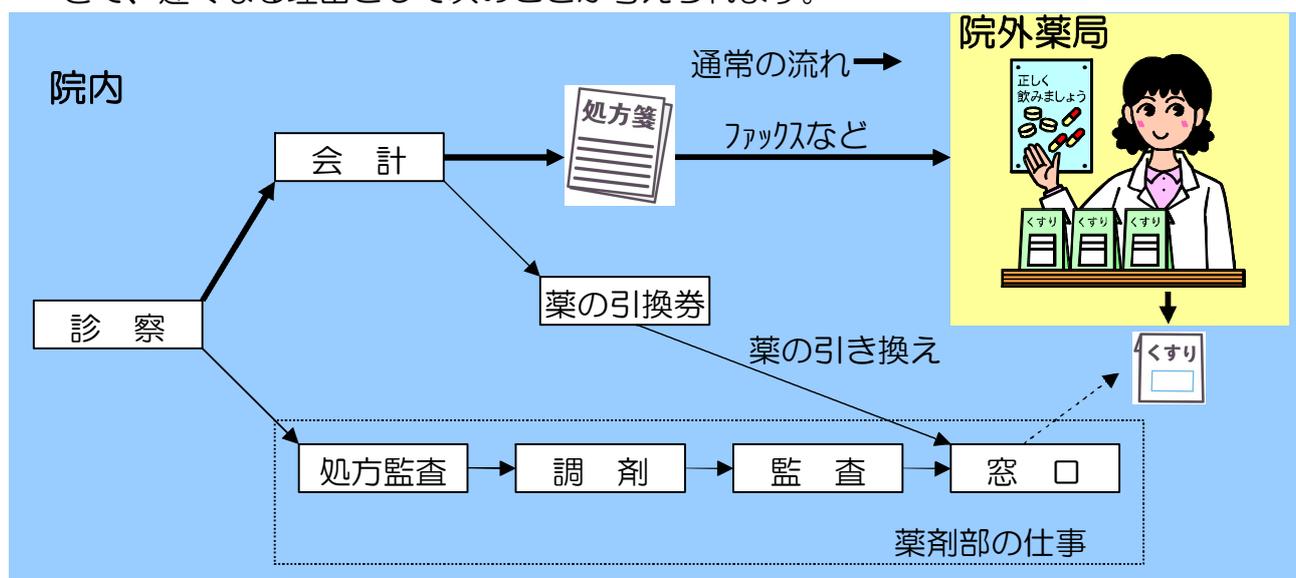
【質問】

小児科で子供がみてもらっているのですが、くすりができるのに時間がかかるのはなぜですか？

【お答え】

当院では、外来で受診された患者さんのおくすりは、国の指導に従って院外の薬局で調剤されています。しかし、特殊なくすり（通常使用されない薬剤 例：マラリアの薬）、緊急性のある場合や保険などの手続きが必要な場合、薬剤部で調剤してお渡ししています。

さて、遅くなる理由として次のことが考えられます。



① 処方内容が多い場合

こなくすりや水ぐすりは、体重によって使用される量が決まります。また、錠剤しかないとき粉碎する必要もあります。また、分包するために時間が必要です。

そのため、処方箋が来てからくすりが出るまで時間がかかってしまうのです。

② 特殊な薬品を使用する場合

市販されていないくすりや稀に使用されるものはその都度、調剤・用意するためです。

③ 保険の各種手続きなどのため院外処方箋が院内処方に変更された場合

会計のところで変更があった場合、診察のところでもう一度入力しなおす必要があるため相当時間がかかります。ご面倒おかけしますが、ご理解のうえよろしくお願ひ致します。

=== ご不明な点がございましたら、お気軽にお尋ね下さい。 ===

[語句説明]

処方監査：処方箋の内容をチェック（量・服用方法・相互作用がよいか調べる）

調剤：必要なくすりを用意（量る・混合・分包など）する

監査：調剤されたくすりをさらにチェック（ダブルチェック）



外来診療日程表 (平成21年1月現在)

1. 初診受付及び予約外の診療受付は、午前9時から午前11時までです。
2. 初めて受診される場合はできるだけお近くの医療機関で診察を受けられ紹介状をご持参の上ご来院ください。
3. 紹介状のない場合も受診はできますが、その場合は初診に係る費用として1,570円を別途ご負担いただきます。
(ただし、口腔外科、児童青年精神科、小児言語科は、完全予約制です。)
4. 午前診療の(医師名)は、予約専門外来です。
5. 午後の診療につきましては、一部を除き、全て再診等の予約専門外来とさせていただきます。

■ 診察受付 1 (成人内科部門・成人外科部門)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合診療科	1,3,5週 森川 2,4週 吉岡 岸田 鈴木比		山上 中村匡 中村友		吉岡 岡田範 宇野		山上 井坂		吉岡 福本 西尾	
腎臓・高血圧内科	今西	(小西啓) (岡田範)	小西啓	(小西啓) (森川)	今西	(今西) (森川)	岡田範	(交代制)	小西啓	(小西啓) (北林)
代謝・内分泌内科	福本	(山上) (松山)	細井	(吉岡) (井坂) (川崎勲)	川崎勲	(細井) (寺村) (福本)	細井	(田中永) (森朋) (上田)	上野	(細井) (川崎勲) (大村)
血液内科	金島	(手島)	手島	(坂本恵)	坂本恵	(金島)		(林良)		(手島) (向井)
循環器内科	阿部	(阿部) (中川英) (伊藤)	小松	(小松)	伊藤	(中川英)	伊藤	(伊藤)	成子 2,4週 古川	(成子) (田川)
心臓血管外科	加藤泰	(加藤泰)	柴田	(柴田)	交代制		服部	(服部)	清水幸	
臨床腫瘍科	武田	(武田)	徳永	(駄賀) (進藤)	武田	(武田) (平良)	徳永	(徳永) (清田)	駄賀	(平良) (進藤)
呼吸器内科	少路		住谷	(住谷)		(少路)	少路	(少路)	西島	
呼吸器外科	山本良	(山本良)			多田	(多田)	中嶋		高濱	(高濱)
消化器内科	川崎靖 (大川)		上田渉		木岡 (根引)	(根引)	斯波 (上田渉) (松井)	(斯波) (大川)	根引	(佐野弘)
肝臓内科	川崎靖 (大川)	(川崎靖)	上田渉 (中井)	(田中敏) (中井)	木岡 (木岡)	(木岡)	斯波		根引 (木岡)	
消化器外科・外科	山本篤	(山本篤)	西口 山下	(西口) (山下)	池原	(池原)	山下	(山下)	竹村	(竹村)
肝臓(肝・胆・膵)外科			塚本	(塚本)	金沢	(金沢)	清水貞	(清水貞)		
乳腺外科	池田	(池田)						(池田)	小川	(小川)
神経内科	氷室	(氷室)	森畑		氷室	(氷室) (赤星)	林紀	(森畑)	1,3,5週 赤星	(林紀)
脳神経外科	小宮山	(小宮山)	中村一	(中村一)	吉村	1,3,5週 (岩井) 2,4週 (山中一浩)	(山中一浩) 1,3,5週 松阪 2,4週 坂本博	(山中一浩)	岩井 石黒	(岩井) (石黒)
感染症センター	中村匡	(阪上)	宇野	(後藤)	後藤	(片山)	後藤	(片山)	白野	(阪上)

■ 診察受付 2 (耳鼻咽喉科・眼科・口腔外科)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
耳鼻咽喉科	愛場 中野	(愛場) (中野)	久保 楠木 松下	(久保)	交代制		愛場 古下 比良野	(古下)	交代制	
眼科	太田 坂口 濱島	(太田)	森秀 松川 富田 清水久	(森秀)	太田 清水久 福田		横山 清水久 福田 富田	(横山)	森秀 坂口 濱島 松川	
口腔外科	浦 連	(浦) (連)	大石 黒田	(大石) (黒田)	黒田 連	(黒田) (連)	(太田黒) (西浦)	(太田黒) (西浦)	大石 浦	(大石) (浦)

■ 診察受付 3 (小児部門)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
小児内科	塩見 (山田浩) (大西)	(外川) (山田浩) (望月)	原 (森啓) (塩見)	(江原) (塩見)	市場 (天羽) (望月) (藤丸)	(藤田) (天羽) (望月)	外川 (新平) (天羽) (藤丸)	(外川) (藤田) (藤丸)	山田浩 (外川)	(山田浩) (塩見)
小児血液腫瘍科	大杉			(原) (岡田)	大杉 朴	(大杉) (朴)		交代制	朴	(原) (迫)
新生児科	寺田		原田	(市場) (森啓)	大西	(大西)	田中裕	(田中裕)	市場	(市場)
小児神経内科	川脇	(川脇) (岡崎)	富和 木村	(九鬼)		(川脇)	岡崎	(岡崎) (木村)	川脇 九鬼	(川脇)
小児循環器内科	1,3,5週 村上 2,4週 江原	1,3,5週 (村上) 2,4週 (江原)	江原 鈴木嗣	(鈴木嗣)			村上 鈴木嗣	(村上) (小澤)		
小児外科	大野	(大野)	東		中村哲	(中村哲)	山田弘		東 (中村哲)	(東) (大野)
小児整形外科				(北野)						
小児泌尿器科		(坂本亘)						(石井)		
小児心臓血管外科	西垣				川平	(西垣)				
小児脳神経外科	坂本博	(坂本博)					坂本博	(坂本博)	松阪	(松阪)
小児眼科			太田	(横山)	田中尚 横山	(田中尚) (横山) (坂口)	1,3週 (大窪)	月1回 (内海)	横山 (山口)	1,3週 (横山) 2,4週 (富田)
小児耳鼻咽喉科	久保	(古下)	愛場	(中野)	交代制		中野	(楠木)	交代制	
小児言語科	交代制		交代制		交代制		交代制		交代制	
児童青年精神科	中村裕 (豊永)	(中村裕) (豊永)	佐藤 (鄭)	(佐藤) (鄭)	岡 (補永)	(岡) (補永)	1,3,5週 中村裕 2,4週 岡 (豊永)	1,3,5週 (中村裕) 2,4週 (岡) (豊永)	補永 (佐藤)	(補永) (佐藤)

■ 診察受付 4 (整形・形成・皮膚・産科・婦人科・泌尿器・精神)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科	青野 中川敏 米田	(青野)	松村 加藤相 前野 (坂和) (小西定)	(松村) (加藤相) (黒田) (坂和) (小西定)	香月 細見 米田 (加藤相) (松村)	(細見) (米田) (加藤相) (松村)	小西定 黒田 山崎 (香月) (青野)	(小西定) (前野) (香月) (青野)	坂和 山崎	(坂和) (山崎)
小児整形外科	北野	(北野) (中川敏)				(中川敏)	(北野)	(高橋)		
形成外科	今井		森本		1,3,5週 高橋 2,4週 玉井		今井		藤本	

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
皮膚科	前川 山中一星		國行 吉田		國行 1,2,3,5週 山中一星 4週 吉田		國行 山中一星		前川 吉田	
産科・婦人科	中本 (康) (川村)	(中本) (康) (川村)	1,3週 西村 2,4,5週 徳山 (中本) (康)	1,3週 (西村) 2,4,5週 (徳山) (中本) (康)	深山 (松尾) (西村)	(深山) (福益) (西村)	松尾 (本久) (深山)	(松尾) (本久)	徳山 川村 (福益)	(徳山) (川村) (福益)
泌尿器科	杉本 (金) (石井)	(杉本) (浅井) (石井)	早原		坂本亘 (杉本) (上川)	(舟尾) (杉本) (上川)	石井 (坂本亘) (金)	(坂本亘) (金)	上川 (杉本) (出口)	(出口)
精神神経科	1,3,5週 引地 2,4週 甲斐 (岩瀬) (村松)	(岩瀬) (村松)	1週 岡 2,3,5週 佐野祥 4週 中村裕 (豊永) (山内)	(豊永) (山内)	高橋 (引地) (佐野祥)	(引地) (佐野祥)	村松 1,3,5週 (岡) 2,4週 (中村裕) (高橋)	1,3,5週 (岡) 2,4週 (中村裕) (高橋)	山内 (古塚) (甲斐)	(鈴木太) (甲斐)

がん相談窓口のご案内

総合医療センターでは、患者様やご家族あるいは地域の方々のがんに関する治療上の不安や悩みに対応するために、医療相談窓口に「がん相談窓口」を設置しています。

専任の看護師(がん化学療法・がん性疼痛の認定看護師)やソーシャルワーカー・薬剤師等が皆様のお話を伺い、問題解決のお手伝いをさせていただきます。

どうぞお気軽にご相談ください。

がんにはどんな治療があるの？

抗がん剤の副作用は？

緩和ケアってどんなもの？

気持ちが落ち着かない話を聞いてもらいたい

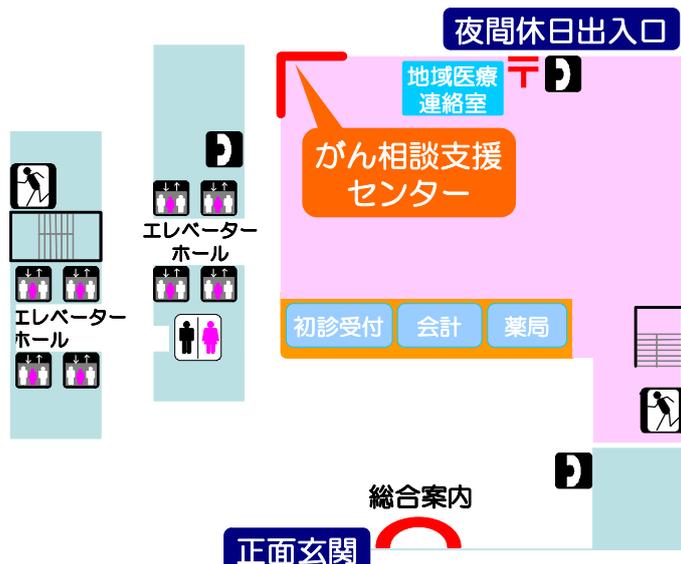
セカンドオピニオンって何？



たとえば、こんなとき……？

がん相談支援センター

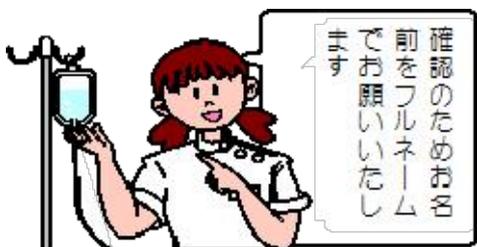
受付日時：月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
午前9：00～午後4：00
場 所：1階 医療相談窓口(入退院受付隣)
対面相談：面談室での相談
電話相談：06-6929-1221
内線5254・5255



— 患者さんへのお願い —

私たちの病院では、入院中、安全で質の高い医療を提供するため、ご自身の生活や健康状態を一番よく知っておられる患者さん自らが、治療に主体的に参加していただき、医療者と患者・ご家族とのパートナーシップを推進していきたいと考えています。職員との間に信頼関係を築けるよう、ご協力をお願いします。

- 1 安全確保のため、アレルギー歴など、ご自身の健康に関する情報はできるだけ正確にお伝えください。
- 2 「説明と同意」にもとづく医療を行っています。
処置・検査・手術・注射などを行う場合、必ず説明をおこなっていますが、説明がよく理解できない場合は納得できるまでお尋ねください。
- 3 注射・点滴・採血を受けられる場合は職員と共にご自分のお名前をご確認ください。
- 4 患者さんの取り違えを防止するために、小児病棟では入院～退院まで、成人病棟では手術・血管撮影検査を受ける患者さんに、患者さんのお名前を書いたリストバンドを装着させていただきます。
- 5 感染防止のため病室へ出入りされる場合は入口備え付けの消毒薬で手指の消毒をお願いします。
- 6 転倒・転落の事故防止のため、歩行や立ち上がりに不安のある方は、ご遠慮なくお申し出ください。
 - ①ベッドの上に立ち上がったり、ベッドから身を乗り出して床頭台のものを取ったりしますと、身体のバランスを崩して転落することがありますので、おやめください。
 - ②履物は、滑りにくい履きなれたものをご使用ください。
- 7 患者さんやご家族の抱える社会的問題、社会復帰、医療費の負担、施設入所などの問題には医療ケースワーカーを中心に地域医療連携室が相談に応じています。その他、医療サービス全般、苦情、提案など患者さんやご家族のご意見を尊重するため、患者相談窓口へご相談ください。またご意見箱(皆様の声)を設けておりますのでご利用ください。
- 8 他の患者さんの治療に支障をきたさないように病院の規則をお守りください。



患者満足度調査の結果報告のポスターの掲示と改善点をまとめた冊子を作成しました。

患者さんの満足度調査報告(概要)

大阪市立総合医療センターでは、医療サービスの向上を図るため、患者さんの満足度調査を行いました。ここに、調査結果の概要を報告させていただきます。なお、改善対応策等、詳細について別途冊子にしておりますので参照ください。ご協力いただいた患者さん、ご家族のみなさんにお礼を申し上げます。

大阪市立総合医療センター

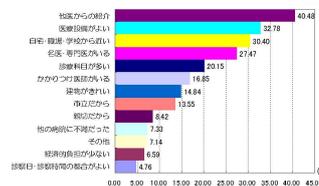
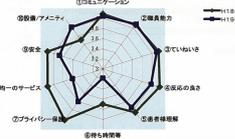
調査の概要

- ◆実施期間
入院患者さん 平成19年11月12日～12月7日に退院された患者さんの内 390名の方
外来患者さん 平成19年11月15日、20日に外来診療を受けた患者さんの内 802名の方
ご協力ありがとうございました。

◆外来患者さんのアンケート結果

1) 総合評価

②職員能力、③丁寧さ、⑥設備/アメニティの3項目は全国標準と比較しても10段階中8～10という高い評価をいただきました。しかし、全体的に前回よりも厳しい評価をいただいております。結果を真摯に受け止め、全職員でサービスの向上に努めてまいります。



②患者さんが当センターを選ばれた理由「他医からの紹介」が一番多く、以下「医療設備がよい」「自宅・職場・学校から近い」「名医・専門医がいる」という理由が続きます。地域の中核病院としての役割をよく理解していただいていると感じました。

◆入院患者さんのアンケート結果

総合評価

①コミュニケーション、②職員能力、③ていねいなさ、④夜間の良さ、⑤設備/アメニティの5項目は、10段階で9～10という高い評価をいただきました。また、10項目中、6項目については、前回調査から患者さんの評価が上がっています。職員の取り組みや努力を患者さんに評価していただけたことを大変うれしく思います。

